

＜ 10 月第 1 例会報告 ＞

「ワイワイまつり 2017」に参加して

書記 野呂 隆

今年の西神戸YMCAのワイワイまつりは「ひろげよう みんなの“わ”」をテーマに10月21日(土)に行われました。大型台風が近畿地方に接近して雨模様の天気でしたが風雨はそれほど強くはなく、無事に行うことができ大勢の来場



者で賑わいました。

われわれのクラブは毎年恒例の杵餅つきをして、ついた餅は次々に丸めて大福餅にして販売しました。いつものように買う人の列が途絶えることがなく、無事にもち米40kgをつきあげることができました。

クラブのメンバーだけではつき手や丸め手が足りなくて、YMCAの日本語学校の学生さん達や、ウェルネスセンターの会員さんなどが応援にきてくださり助かりました。



販売したお金はYMCAに委ねられ、地域の福祉や災害支援などに活用されます。

施設の中ではYMCAの職員や大学生リーダー会、高等学院の学生さん達によるクイズ、ゲームコーナー、食べ物・のみ物の販売に人気が集まり、ステージやプールではキッズダンス、フラダンス、シンクロナイズ

ドスイミングなど親子で楽しめるいろいろな演技が披露された様子でした。

YMCAの職員さんを始め、リーダー会、高等学院の皆さんの気持ちや熱意が伝わってよいイベントになり、われわれも協力できてよかったと思っております。

＜11月第二(事務)例会報告＞

書記 野呂 隆

日時：2017年11月9日(木) 19:00～21:00

場所：西神戸YMCA

出席者：阿部、佐伯、杉本、館、田辺、丹家、中村、野呂、藤井(信)、メネット：阿部、合田

1. 報告事項

(1) 第2回EMC事業委員会

10月16日(月)神戸YMCA 18:30～

出席者：野呂

大野理事、三科主任、杉本六甲部長、クラブEMC担当等13名が出席し、新クラブ設立、会員増強について意見交換を行った。西神戸YMCA事務局長より明石市に開設の「あかしこども広場」について説明があった。大野理事、杉本部長等四者で論点をまとめ、次回に協議することにした。

(2) ワイワイまつり 10月21日(土)

参加者：佐伯、杉本、館、達、田辺、丹家、中村、野呂、藤井の、藤井ひ、メネット：佐伯、杉本、宗利、ゲスト：13名

(3) チャリティラン協賛委員会 10月23日(金)

神戸YMCA 19:00～ 出席者：田辺会長

チャリティラン申込者が525人になった。

(4) チャリティラン 11月3日(金)

参加者：阿部、佐伯、杉本、館、田辺、丹家、長坂、中村、野呂、藤井の、藤井ひ、メネット：阿部、合田、佐伯、杉本、宗利 ゲスト：17名

(5) 西日本区9部会参加報告 杉本部長

EMCの会員確保が急務であることが報告された。

(6) ファンド：中村ファンド担当より、ジャガイモは全箱販売できたとの報告があった。

(7) 交流ゴルフ大会 11月30日(木)

千刈カントリークラブ 参加予定者：杉本部長

(8) 12月7日(木)事務例会に井上総主事が出席予定

2. 協議事項

今後の例会予定など

(1) クリスマス会 12月9日(土) 6:30

礼拝お話し：丹羽牧師、ビンゴなど
クリスマス会準備の臨時事務例会を 11 月 30 日
(木) に行うことで調整する。

- (2) 新年例会 1 月 (日程、場所未定)、
 - (3) フルート演奏 2 月 15 日 (木)、
 - (4) ワインの話 3 月 15 日 (木)
 - (5) EMC 事業委員会 11 月 20 日(月) 18:30
出席：田辺、野呂
 - (6) 地域奉仕・環境事業委員会 11 月 20 日(月)
18:30
 - (7) 交流ゴルフ大会 11 月 30 日 (木)
出席：杉本部長
 - (8) 岡山クラブ第 1 例会 11 月 21 日(火) DBC 締
結交渉中 出席：杉本、田辺、中村、藤井ひ
 - (9) 芦屋クラブ 20 周年記念例会 12 月 23 日(土)
出席予定：杉本部長、田辺、中村、野呂、藤井ひ
3. その他報告・協議事項 田辺会長より次期会長の
件で発言があり、早急に決定する旨を了承した。

4. 今後の西日本区・六甲部行事予定

- ◎神戸市民クリスマス 12 月 15 日(金)
- ◎阪和部新年合同例会 2018 年 1 月 13 日(土)
12:00~

< 第 20 回神戸 YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2017 報告 >

会長 田辺征一



今年の 10 月は異例の天候不
順で、お天気が心配されたが、
11 月 3 日は絶好のチャリラン晴
れとなった。

今年は、市内小学校の音楽会が重なったことや、教
員引率の制度変更のために小学生ランナーの参加が
少なかった。しかし、実行委員会によると総勢 900 人
ほどの来場者があったようで、例年通り華やかで楽し
い雰囲気の大会であった。支援金は昨年より少ないも
のの約 160 万円が集まった。

我がクラブは今年も“もちつき”で大会を盛り上げ
た。昨年よりチャリラン参加者が少ないこともあり、
当初、もち米を減らすことも考えられたが、例年通り
40Kg をついた。しかし、大会当日まで、つき手・丸
め手がそろわないかわからず、大変不安であった。

おもちが完売したのは例年より 1 時間ほど遅かつ
たようであるが、多くの助っ人に助けられて何とかつ

き終わることができた。売上金から計算すると、全部
で 21 うちついたことになるが、クラブ会員の高齢化
に伴い年々負担度が増してくることが懸念される。今
後もちつきを続けるためにも次のことが必要である。
① つき手・丸め手を事前に確認・手配しておく、② も
ち米の量は適切か?③決して無理をしない、④ 蒸し器
を 1 セット買い足すか?⑤ 引き続き衛生管理には細
心の注意を払う、⑥ 開始・終了時にブリーフィング
のときを持つ、ことなど。



今回の行事に協力いただいた外部の方(一うすで
もついてくださった方も含む)は 17 人であった。
この場を借りてお礼を申し上げたい。



< ANA チャーター便で行くスイス ゆったりアルプス 3 大名峰と氷河特急 デラックスシート 9 > (第 4 回) 丹家元陽 メン

7 月 13 日(水)

さあ、今日はこの旅の一番のハイ
ライト、matterhorn 観光に出
発。ツェルマット駅前のゴルグナ
ーグラート鉄道に乗り 9km 約 33
分の旅。約 20 分で森林限界を越



え、岩と草と所々に残る雪溪の世界。3089m ゴルナーグ
ラート駅着。6℃。「絶対走らないでください!」。展望台
からは360°に広がる雪山が見事。4000m級の山々が連
なっている。ヨーロッパ第2の高峰モンテローザ 4634m、
リスカム 4527m、カストール 4223m、ブライツホルン 4164m
etc.そして誰が見ても解るマッターホルン 4478m は秀逸
の美しさで屹立している姿には鳥肌が立つ。何枚写真を
撮ったのか解らない位シャッターを押していた。そして、
これらの山々の間を流れるフィンデル氷河、グレンツ氷
河、ツヴェリングス氷河、シュヴァルツ氷河 etc.特に有名
なゴルナー氷河も見事な自然美。そしてここから少し降り
たローテンボーデン駅からリッフェルベルグ駅までの下
り、約1時間半のハイキング。途中の池での逆さマッター
ホルンは、山にかかった雲の為に残念。しかし、道の周
囲に咲く小さな高山植物の美しさに心を癒される一時。
昼食は、お弁当のおにぎりで一服。下山後は駅前の
COOP へ。エーデルワイス刺繍のミトンとスイス名物のチ
ョコレートをゲット。スイス人曰く、28℃で溶けないのはチ

ョコレートとは言わないとの事。屋台で売っていた太いツ
ーセージの誘惑に負け、かぶりながら町の中心にあるマ
ッターホルン博物館へ。このツェルマットの町とマッター
ホルンの歴史。そして1865年7月14日マッターホルン
初登頂の記録と共に、下山の時切れてしまい4名が滑落
死したザイルも展示されている。さて、今夜の夕食へ。ホ
テル前の路地を下る。両側にはネズミ返しのある古い穀
物倉庫が並ぶ。歩く事約10分でケーブルカー駅着。長
いトンネルを歩き、ケーブルカーに乗る。全てトンネルの
中を数分で700m登り、スネガ展望台着。2288m。晴れて
おれば、目の前にマッターホルンが見えるのだが生憎の
みぞれ混りの雨で寒い。アルペンホルンの生演奏を聞き
ながら、たっぷりのサラダに子牛のクリームシチューチ
ューリッヒスタイルが美味。デザートはリンゴのタルト。勿論
CALANDAビールと白ワインは欠かせない。

(次号に続く)

< 今月の聖句 >

天の国はからし種に似ている。

「イエスは、別のたとえを持ち出して、彼らに言われた。『天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、どんな種よりも小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣をつくるほどの木になる。』

また、別のたとえをお話になった。『天の国はパン種に似ている。女がこれを取って三サトンの粉に混ぜると、やがて全体が膨れる。』

※ 三サトン：約40リットル (マタイによる福音書13章31～33)

からし種の大きさは直径1ミリメートル、重さ1ミリグラムほどだが、成長すると数メートルにもなるという。パン種(酵母)はごくわずかでもパンを発酵させて大きく膨らませる。

神の恵みは大きなものなのに、私たちには「からし種」のように小さくて気づかれない、「パン種」のように粉にうずもれて存在がわからない。しかし、イエスが私たちの心に蒔いた種は成長していく。そして、小さな芥子粒ほどの種は鳥が巣を作るほどの大きな木になり、パン種を入れた小麦粉のようにふくらんでいく。「良い土に蒔かれたものとは、イエスの言葉を聞いて悟る人であり、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結ぶのである」——神の恵みに喜びを感じて生きる人は、鳥が枝で憩うように、いつの間にか多くの人たちを喜びの渦に巻き込み、大きく膨らんだパン(喜び)を他の人に分け与えることができる。

～ 齋藤孝著 「声に出して読みたい新約聖書」草思社より ～